

# 花時計

文京ふるさと歴史館友の会事務局  
(文京ふるさと歴史館内)

令和4年6月24日発行

## ●懐かしい散歩道

佐藤 茂

コロナ禍で不要不急の外出はしないよう言われているが、私は運動不足を解消するために、近所を歩くようにしている。江戸川公園一帯は、絶好の散歩コースである。

まず江戸川橋の袂に、大正14年に建てられた「江戸川公園」という高さが四メートル近い大きな石碑が建っている。「男爵阪谷芳郎書」とあるが、東京市長や貴族院議員を務めたことがある。井の頭公園の入り口の石碑にも、名前が記されていた。

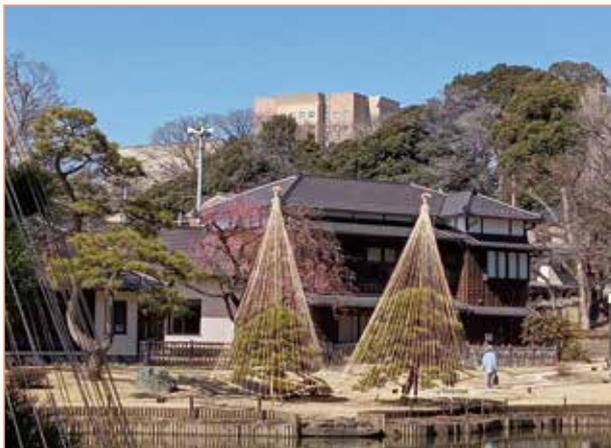
椿山荘の庭園は、いつも鑑賞させていただいたが、現在冠木門は閉じられていて、目白台側から、しかも利用者しか入れないらしい。

駒塚橋から登る胸突坂は、私が東京に出てきて、目白台に住住した頃、早稲田の学生街の赤提灯に行った帰り、難儀をして上った坂道である。

「肥後細川庭園」は、改名をして今年で5年になる。かつては「新江戸川公園」といって、あまり整備もされて無く、私は当時の園内に入った記憶があまりない。現在は見事に整備され、土曜日・イベント開催時には庭園ガイドも行われている。また、紅葉の季節には、ライトアップされる「ひごあかり」も催されている。

庭園の築山から台地を見ると樹木が繁り、ここが東京のど真ん中ということをお忘れさせてくれる。北西を見上げると、日本女子大学の高層の建物が見える。ガイドが紹介する明治20年代に撮影された写真を見ると、池畔に少年時代の細川護立氏(当代・護熙氏の祖父)が佇んでいる。この背後の林の上に、洋館と思われる建物の一部が見える。これは現目白台運動公園に建っていた細川邸の本館の上部である。この本邸は、関東大震災で壊れ、その後現在の和敬塾本館となっている本館を建てて、本邸とした。

何度歩いても、新しい発見があり、又懐かしい散歩道である。



## ●森鷗外 青年を歩く

縄崎 吉之助

古地図や絵図を眺め、その道を歩くのは楽しいことである。

明治43年に、この楽しさを小説にした文豪が森鷗外でありその小説が「青年」である。夏目漱石の「三四郎」に刺激されて書かれたと言われている。

鷗外が長男の「於菟」と長女の「茉莉」を連れての散歩道を取り入れている。私もこのコースを何度も歩いているが、飽きの来ない道である。

Y県(山口県)から小説家をめざし上京してきた小泉純一が、今流行の小説家である大石狷太郎に会うため彼の住んでいる「袖浦館」まで行くところから始まる。

鷗外住居がゴールになるが逆からスタートしている。

芝の宿屋を出て、東京方眼図(鷗外が作成している)を片手に(中略)本郷三丁目で電車を降りて追分の高等学校(現東京大学)に附いて右に曲がった「根津権現」の表坂上にある「袖浦館」についた。

純一は、権現前の坂の方へ歩き出した。

右は高等学校の外圍い、左角は出来たばかりの会堂(聖テモテ協会)(中略)坂の上に出た。地図では知れないが割合に幅の広い此の坂は、S字をぞんざいに書いたように屈曲して附いている。純一は、暫く眺めて深い呼吸をした。坂を下りて、左側の鳥居を這入る。花崗岩を敷いてある道を神社の方へ行く。(中略)藪下の狭い道に這入る。(中略)右側は、崩れ掛かって住まわれなくなった古長屋に戸が締めてある。(中略)爪先上りの道を、平らになる処まで登ると右側が崖になっていて上野の山までの間の人家の屋根が見える。ふいと左側の家を見ると、毛利某という門札が目につく。純一は、これが鷗村(森鷗外)の家だなどと思って中を覗いてみた。(皆さんも、「青年」を片手に歩いてみてはいかがでしょう。)



## 友の会の歩み 令和3年度

### ■第1回史跡巡り 参加者42名

4月22日(木)

「世田谷豪徳寺界隈を歩く」

### ■第2回史跡巡り 参加者46名

6月17日(木)

「田端文士村を訪問」

### ■第3回史跡巡り 参加者51名

10月28日(木)

「旧中山道を歩く 駒込一里塚(東大農学部前)～西巢鴨」

### ■第4回史跡巡り 参加者49名

11月29日(月)

「御三家・水戸家上屋敷の外周を歩く」

### ■第5回史跡巡り 参加者32名

1月7日(金)

「雑司が谷七福神を巡る」

### ■講演会 参加者48名

2月24日(木)

「コンドル博士の日本文化研究」／講師：加藤元信氏(文京ふるさと歴史館学芸員)

(8月の講演会と10月のバス見学会は、コロナ禍により中止)

その他、「友の会だより」第88号、30周年記念特別号、第90号発行、増刊号「花時計」発行、役員会月1回開催



第1回史跡巡り (松陰神社)



第2回史跡巡り (田端文士村記念館)



講演会風景



第4回史跡巡り (常泉院)

## 友の会へのお誘い

友の会会員になると、文京ふるさと歴史館の入館料が免除になります。また、歴史館の特別展・歴史講座等事業のご案内をお届けします。

さらに、友の会では独自の活動として文化財や博物館の見学会や史跡巡り、講演会、会員の研究発表などを行っています。

また平成22年度には、永年にわたる活動が評価され、「生涯学習事業関係団体」として文京区区政功労者表彰を受け、区長より表彰状と銀杯が授与されました。

文京区民はもちろん、区外の方でも入会できます。会費は年間1,500円、行事に参加するときは実費を徴収させていただきます。詳しくは、友の会事務局までご連絡ください。

【連絡先】 〒113-0033 東京都文京区本郷4-9-29  
電話 03(3818)7221  
文京ふるさと歴史館内 友の会事務局

## 「文京まち案内」へのお誘い

文京ふるさと歴史館友の会ボランティアガイド「文京まち案内」は、平成11年に発足しました。「文京区の良さを伝えたい、地域のために役に立ちたい」というのが結成の目的です。ガイドの依頼は各地からあり、少人数のグループから50人を超える団体まで、さまざまな依頼に対応しています。

文京を訪れたい、文京のまちを歩きたい、歴史や文化をもっと知りたいと思ったとき、ぜひ「文京まち案内」をご利用ください。

また、文京区の歴史に興味がある方、歩くのが好きな方、人との出会いを楽しみたい方、「文京まち案内」に入ってみませんか。

メンバーは現在14名。初めての方でも自主研修会に参加し、経験者と組んで案内するうちに知識が身につくので心配ありません。自分の勉強にもなりますし、終わった時、先方が満足し感謝していただければ最高の喜びです。意欲のある方は、ぜひ友の会事務局までお問い合わせください。